

2020年7月以降のながせのながやのご利用について

いつもながせのながやをご利用いただきありがとうございます。新型コロナウイルスの影響により、2020年6月末までながせのながや 地域サロンの利用を休止しておりましたが、2020年7月より利用を再開させることとなりました。

ご利用される場合、国・大阪府・東大阪市の指針に基づいた**活動計画書・団体者名簿・来場者名簿**の提出が必要となります。当方の示す下記の利用制限の目安を参考に、各団体で活動内容についてご検討いただきますようお願いいたします。ご提出いただけない場合、ながせのながやはご利用いただくことができません。

利用制限の目安

1. 建物内に入る人数は厚生労働省の指針より**8人**まで(利用者様+来場者様)
※ソーシャルディスタンス(2m)を十分に保ったうえで利用する
2. 来場者様・利用者様全員が**体温測定・消毒**を行う
※消毒液・体温計は各団体で持参
3. 飲食可能(飲食の前に必ず手洗い)
※料理教室やお茶会など飲食を目的とした利用は休止
キッチンの使用については要相談となります
4. 飲食時以外は**マスクを着用**する
5. **30分に1回換気**を行う
6. 利用前・利用後の清掃・消毒を行う
7. 国・大阪府・東大阪市の方針に従い、利用者の責任の下で利用する
8. COCOA-新型コロナウイルス接触確認アプリの登録
厚生労働省 HP : https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
9. 利用後アンケートの回答を行う
→ご提出いただく活動計画を実施し、異常があった場合はすぐに連絡を取る

利用時間・料金

利用可能時間：9：30～18:00（18:00～20：00 も相談の上利用可能）

利用料金：従来通り 1時間 500円

詳細は「ながせのながや 地域サロン 利用規約」をご確認ください。

※コラボ利用は新型コロナウイルスが収束するまでは休止させていただきます。

予約期限

予定管理のため、利用日の 1週間前まで

7月1～3日にご利用される方は 4日前まで

※すでにご予約いただいている方は、予定通り利用されるかをご連絡の上、期限までに活動計画書をご提出ください。

予約のキャンセルについて

「ながせのながや 地域サロン 利用規約」より、下記の通りキャンセル料を頂きます。

- ご利用日7日前まで：キャンセル料なし
- ご利用日6日前-3日前：ご利用料金の50%
- ご利用日2日前-当日：ご利用料金の100%

※ただし、7月1~10日のご予約のキャンセルについてはキャンセル料を頂きません。

提出書類

- ・活動計画書（7月以降のはじめの利用のみ）
- ・団体者名簿（利用当日原本を提出）
- ・来場者名簿（利用当日原本を提出）

上記の書類を印刷の上、記入してください。印刷ができない場合は、お手数ですがメールの本文に活動計画書の内容を記入していただくようお願いいたします。

※活動計画書の記入日と署名は、必ず「手書き」でお願いいたします。

提出期限

- ・活動計画書

7月以降の初回利用日の1週間前までに書類を写真またはデータで提出してください。

ただし、7月1~3日に利用される方は4日前の提出で構いません。

例) 7/2 利用される場合 → 6/28 までにご提出ください

7/7 利用される場合 → 6/30 までにご提出ください

- ・団体者名簿、来場者名簿

毎回の利用日ごとに提出をお願いいたします。

※利用日当日にあきばこ家またはフーシャアーキテクチャの者が伺いますので、**活動計画書の原本・団体者名簿・来場者名簿**を直接お渡しく下さい。

疑問点や質問等ございましたら、お問い合わせください。

厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA、新しい生活様式について詳細を載せておりますので、ご確認ください。

自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省

新型コロナウイルス 接触確認アプリ

(略称：COCOA)

COVID-19 Contact Confirming Application

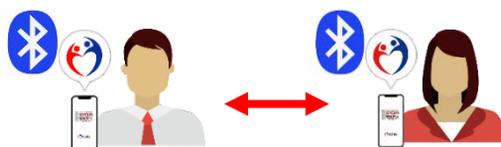


*画面イメージ

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の
感染者と接触した可能性について、通知を受け取る
ことができる、スマートフォンのアプリです

- 本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。
- 利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながる事が期待されます。

1メートル以内、15分以上の接触した可能性



- ・接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはできません
- ・どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにわかりません
- ※端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
- ※記録は14日経過後に無効となります
- ※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
- ※ブルートゥースをオフにすると情報を記録しません

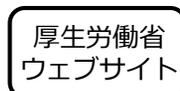
iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら



問1 接触確認アプリとは、どのようなものですか。

利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができます。なお、本アプリはApple社とGoogle社が提供しているアプリケーション・プログラミング・インターフェイス(API)を元に開発しています。

問2 アプリを利用することで、どのようなメリットがありますか。

利用者は、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることを期待されます。

問3 他の利用者との接触をどのように記録するのですか。

スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、ほかのスマートフォンとの近接した状態（概ね1メートル以内で15分以上）を接触として検知します。近接した状態の情報は、ご本人のスマートフォンの中のみ暗号化して記録され、14日が経過した後に自動的に無効になります。この記録は、端末から外部に出ることはなく、利用者はアプリを削除することで、いつでも任意に記録を削除できます。

問4 個人情報が収集されることはありませんか。

氏名・電話番号・メールアドレスなどの個人の特定につながる情報を入力いただくことはありません。他のスマートフォンとの近接した状態の情報は、暗号化のうえ、ご本人のスマートフォンの中のみ記録され、14日の経過した後に自動的に無効になります。行政機関や第三者が接触の記録や個人の情報を利用し、収集することはありません。

問5 位置情報を利用するのですか。

GPSなどの位置情報を利用することはなく、記録することはありません。

問6 他の利用者との接触を検知する目安はありますか。

ご利用のスマートフォン同士が、概ね1メートル以内の距離で15分以上の近接した状態にあった場合、接触として検知される可能性が高くなります。機器の性能や周辺環境（ガラス窓や薄い障壁など）、端末を所持する方向などの条件や状態により、計測する距離や時間に差が生じますので、正確性を保証するものではありません。

問7 利用はいつでも中止できますか。

いつでも任意にアプリの利用を中止し、アプリを削除することで、すべての過去14日間分までの記録を削除できます。

問8 アプリでは、どのような通知がきますか。

新型コロナウイルス感染症の陽性者が、本人の同意のもと、陽性者であることを登録した場合に、その陽性者と過去14日間に、概ね1メートル以内で15分以上の近接した状態の可能性があった場合に通知されます。通知を受けた後は、ご自身の症状などを選択いただくと、帰国者・接触者外来等の連絡先が表示され、検査の受診などが案内されます。

問9 新型コロナウイルス感染症の陽性者がアプリで登録したら通知はすぐにきますか。

利用者への通知は、1日1回程度となっております。アプリへの登録のタイミングによっては、すぐに通知されない場合があります。なお、アプリの設定で「通知をON」にいただくと、通知があった場合に画面上に通知メッセージが表示されます。

問10 新型コロナウイルス感染症の陽性者と診断されましたが、アプリで登録しなかったらどうなりますか。

陽性者と診断された場合に、アプリへの登録は、利用者の同意が前提であり、任意です。登録いただくことで、あなたと接触した可能性がある方が、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。

問11 陽性者との接触の可能性が確認されたとの通知を受けたら、何をすればいいですか。

アプリの画面に表示される手順に沿って、ご自身の症状などを選択いただくと、帰国者・接触者外来などの連絡先が表示され、検査の受診などをご案内します。

問12 厚生労働省ではアプリで得た情報を何に利用するのですか。

厚生労働省では、アプリにより、利用者のデータを利用し、収集することはありません。利用者に氏名・電話番号などの個人情報を入力いただくこともありません。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- 遊びにいくなら**屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒**
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成